アドフラットエルス専用

騒音計システム・振動レベル計システム 使用マニュアル



もくじ	
注意事項	P.1
1. 機能説明	
製品概要	P.2
部材一覧	P.2
設置完了図(例)	P.3
2. 設置方法	
設置手順	P.4~P.15
解体手順	P.15
3. 計測記録方法	
◇騒音計	
計測記録手順	P.16~P.19
記録出力手順	P.20~P.24
◇振動レベル計	
計測記録手順	P.25~P.28
記録出力手順	P.29~P.33

●取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください●ご使用前に『注意事項(P.1)』を必ずお読みください

▶ 日本セイフティー株式会社

注意事項

●使用前にこの取扱説明書をよく読み、正しく使用してください。
 ●本書に記載の内容や仕様に関しては、変更となる場合もあります。
 最新の内容については、弊社ホームページをご確認ください。

安全に関する記号	記号の意味
1 危険	取り扱いを誤った場合に死亡もしくは重傷を負うおそれが切迫して 生じる内容を示しています。
小 警告	取り扱いを誤った場合に死亡もしくは重傷を負うおそれがある内容 を示しています。
小 注意	取り扱いを誤った場合に中・軽傷を負うおそれや物的損害が発生す るおそれがある内容を示しています。

使用用途

・本製品は、工事現場設置用のLEDデジタルモニター「エルス」(通常型)専用の騒音振動計
 (計測記録・表示用)商品です。[オプション品] それ以外の用途では使用しないでください。

使用上の注意事項



- ノイズを含む不安定な電源供給は避けてください。
 電子部品の破損、不点灯の原因となります。
- 本製品は精密機器の為、必要以上に力を加えたり、落としたり衝撃を与えないように注意してください。
- ・高温多湿の場所、長期間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。
- ・返却の際は、必ず運搬時専用ボックスに格納し、返却してください。



- ・設置及び撤去の際は手順書を参照の上、記載された手順通りに作業を行ってく ださい。
- ・可燃性、引火性のある場所での使用は控えてください。
- ・振動、衝撃、粉塵、腐食性ガス、可燃ガスの影響を受ける場所では使用・保管をしないでください。
- ・温度差の激しい環境下、極端に湿度の高い環境下では使用しないでください。
- ・ケーブルを強く引っ張る、曲げる、捻じる等しないでください。
- ・埃や湿気が多い所での長時間使用は避け、埃を定期的に取り除いてください。
- ・濡れた手による差込フラグの抜き差しはしないでください。
- ・電源は必ず指定された電圧のコンセントに接続してください。
- ・差込プラグは根元まで差し込んでください。
- ・ケーブル接続部のナットは確実に締めてください。
- ・コネクタを取り付けていない接続口は防水キャップをしてください。
- 測定器の設定等の作業をする際はダイヤル錠を開錠し、作業後は必ず施錠して ください。
- ・設置後の機器は、関係者以外触らないでください。
- ・本体設置後は、取付部品に緩みがないか定期的に確認してください。
- ・定期的にボックス内を点検し、各種ケーブル類の接続を確認してください。
- ・本体下部へ水をかけたりしないでください。
- ・発煙等、異常が発生した場合は即座に元電源を切って販売元へ連絡してください。

機能説明

製品概要

・騒音振動計セットは、通常型エルス(LED表示器)に接続して使用する騒音・振動数値の 計測記録、LED表示器画面への表示を行うオプション商品です。





▲ 上図は例です。実際の設置に際しては、現場の状況に合わせてください。 ▲ ケーブルは、張り過ぎや無理に引っ張るような設置にならないように注意してください。

◇標準部材

No.	部材名称	構成部材名称	数量
(1)	騒音計収納ボックス(SDカード(512MB)付)		1
2	全天候ウインドスクリーン本体 WS-15	—	1
3	アナログ入出力ケーブル 5m		1
		マイクロホン	1
		取付アダプタ	1
4	ウインドスクリーン取付金具セット	マイク取付台	1
		マイクロホン延長コード 5m EC-04A	1
		L字金具付クランプ	1
5	振動計収納ボックス(SDカード(512MB)付)		1
6	3方向振動ピックアップ PV-83C		1
\bigcirc	振動レベル計用延長コード 3m EC-54S	_	1
8	電源ケーブル 5m		2
9	電源ジョイントケーブル 5m]	1
10	常温収縮チューブ		1

OP品 オプション部材

部材名称		規格	
マイクロホン延長コード	2m EC-04 10m EC-04	B 30m EC-04C 50m	EC-04D 100m EC-04E
振動レベル計用延長コード	10m EC-54SB	50m EC-02SD	100m EC-02SE
校正書類1式	試験成績書、校正証明書、	トレーサビリティ体系図	

2 設置方法

設置手順

I. 騒音計、振動計収納ボックスの設置

エルス本体付近の建地へ騒音計、振動計収納ボックスのクランプ(各2か所)を取り付けます。

▲ エルス本体と騒音計、振動計収納ボックス間の距離は、ケーブル(振動レベル計用 延長コード、マイクロホン延長コード、電源ジョイントケーブル、アナログ入出力 ケーブル)で接続可能な距離としてください。

視点:現場側から見た図



Ⅱ. ウインドスクリーンの設置

1,ウインドスクリーン金具セットの組立 【納品形態:組立完了状態】

▲ 各部品へ必要以上に力を加えたり、落としたり衝撃を加えないように注意してください。

①騒音計上部のマイクロホンを取り外します。(ロックナットを回した後、垂直方向へ引き抜いて取り外します。)



②L字金具付クランプをマイク取付台へ差し込み、ネジ(3本)で固定します。



③マイクロホン延長コードの差込部Aを、②の組立品へ差し込みます。 ▲ケーブルを引っ張ったりねじったりしないでください。



④マイクロホンをマイクロホン延長コードの差込部Aへ取り付けます。 (差込部Aの突起部へ、マイクロホン接続部の切り欠きが合うよう差し込み、 ロックナットを回して固定します。)



⑤取付アダプタを切れ目より、マイクロホン延長コードへ差し込み、マイクロホン下部へ 接するように固定します。

▲取付に力を要します。

▲ケーブルを引っ張ったりねじったりしないでください。



⑥マイクロホンへ取り付けた取付アダプタを、マイク取付台へ差し込みます。



2.ウインドスクリーンの組立 ウインドスクリーン組立金具セットへ、全天候ウインドスクリーン本体を装着します。 ▲ バードストライクが折れないよう、十分に注意してください。



3. ウインドスクリーンの設置

手順2で組み立てたウインドスクリーンのクランプを建地へ取り付けます。 ウインドスクリーン下部付近の余ったケーブルを、輪を作る等して結束バンド等で建地へ 固定します。

▲ バードストライクが折れないよう、十分に注意してください。

▲ 部材へ必要以上に力を加えたり、落としたり衝撃を加えないように注意してください。

- ▲ ケーブルを引っ張ったりねじったりしないでください。
- ▲ 敷地境界線へ取り付け、道路側へ出ないように注意してください。 ▲ 風・音を遮る物がない位置へ取り付けてください。
- ▲ 仮囲い真裏への設置は避けてください。(反響音の影響を避ける為)





手順①:騒音計収納ボックスの扉を開け、ナットを緩めて、マイクロホン延長コードを ボックス底面よりボックス内部へ通します。 ▲ナットが外れないように注意してください。

- 手順②:マイクロホン延長コードの差込部Bを騒音計上部の接続部へ接続します。 (接続口の突起部へ合わせて差し込み、ナットを回して締めます。) 手順③:余ったケーブルを輪にし、結束バンドでバンド固定部へ固定します。 ▲ケーブルは引っ張りすぎないよう、余裕をもって取り回してください。

- 手順④: VFボックスのプラグ部を騒音計 底面の接続部へ接続します。 手順⑤: ACアダプタのプラグ部を騒音計 底面の接続部へ接続します。
- 手順⑥:騒音計収納ボックスのナットを締め、騒音計収納ボックスの扉を閉めます。

Ⅳ.3方向振動ピックアップの設置

▲ 部材へ必要以上に力を加えたり落としたり、衝撃を加えないように注意してください。 ▲ ケーブルを引っ張ったりねじったりしないでください。

1,ピックアップと延長コードの接続

①常温収縮チューブの中からコアリボンを引き出します。
 ▲ コアリボンがチューブの中を通っていることを確認してください

▲ コアリボンがチューブの中を通っていることを確認してください。

▲ 反対方向に引きだすと後工程で不具合が生じますので、作業をやり直してください。



②コネクタ接続前に常温収縮チューブを片側のケーブルに挿入します。



③振動レベル計用延長コードの端部を3方向振動ピックアップの接続部へ取り付けます。
 (突起部に合わせて差し込み、ナットを回して固定します。)
 その後、接続部を常温収縮チューブで防水処理します。
 ▲ナットはしっかりと締めてください。



④連結したコネクタの中心位置から外側48mmの位置(左右どちらか1箇所)に、 テープ等で目印を付けます。

▲常温収縮チューブの収縮開始位置となる重要な寸法ですので、注意して実施して ください。

▲目印はきれいに取り外せて、コネクタ部を汚したり破損しないものにしてください。



⑤コアリボンを引き抜き、収縮させた常温収縮チューブの端部を目印位置に合わせます。



⑥コアリボンを引き抜いていきます。



- ⑦全てのコアリボンを引き抜き終えたら、テープ等の目印を取り外し、貼り付け完了となり
- ます。 **A**テープに破れ・ちぎれ・めくれ・よれがなく、きれいに貼り付いたことを確認して ください。

▲常温収縮チューブは再利用しないでください。

▲貼り付け完了後のテープ両端部が、コネクタ両端部から内側に約10mm以内の位置に なるようにしてください。



2.ピックアップの設置

3方向振動ピックアップを、以下条件の測定場所へ設置します。 (測定は原則Z方向(鉛直)のみですが、ピックアップの設置は敷地境界線と直行方向を X、平行方向をYとします。)

[設置場所]

- ・緩衝物がなく、かつ、十分踏み固め等の行われている堅い場所
- ・傾斜及び凹凸がない水平面を確保できる場所
- ・温度、電気、磁気等の外囲条件の影響を受けない場所
- ▲ 振動ピックアップを設置する面は固い面とし、地表面を強く踏み固め、 雑草等が生えている場合には、これらを引き抜いた後で踏み固めてください。
- ▲ 鉄板、コンクリートなどで滑りやすい場合は、両面テープ等で振動ピックアップが 動かないように固定してください。
- ▲ 草地、畑地、砂地等で地中まで柔らかくなっている場所での測定は避け、 代わりの測定場所を探してください。
- ▲ 測定中はピックアップの近くを歩くことがないよう十分に注意してください。
- ▲ 3方向振動ピックアップが水没しないように注意してください。





- 手順①:振動計収納ボックスの扉を開け、ナットを緩めて、振動レベル計用延長コードを ボックス底面よりボックス内部へ通します。
- ▲ナットが外れないように注意してください。 手順②:振動レベル計用延長コードの差込部を振動レベル計接続部へ接続します。 (接続口の突起部へ合わせて差し込み、ナットを回して締めます。)
- 手順③:余ったケーブルを輪にし、結束バンドでバンド固定部へ固定します。
- ▲ケーブルは引っ張りすぎないよう、余裕をもって取り回してください。
- 手順④:VFボックスのプラグ部を振動レベル計 側面の接続部へ接続します。 手順⑤:ACアダプタのプラグ部を振動レベル計 側面の接続部へ接続します。
- 手順⑥:振動レベル計収納ボックスのナットを締め、振動レベル計収納ボックスの扉を閉めます。

Ⅵ. エルスと各収納ボックスの接続

アナログ入出力ケーブル 5m 端部(3か所)をエルス本体、騒音計収納ボックス、 振動計収納ボックス 底面部の接続部へ取り付けます。







手順①:振動計収納ボックス底面の接続部へ電源ジョイントケーブル 5mの端部を接続します。
 手順②:騒音計収納ボックス底面の接続部へ電源ジョイントケーブル 5m、電源ケーブル 5mの端部を接続します。(接続口の突起部へ合わせて差し込み、ナットを回して締めます。)
 手順③:騒音計収納ボックスへ接続した電源ケーブル 5mの電源プラグ部を、
 現場コンセント(AC100V)へ接続します。

₩.余ったケーブルの固定

余ったケーブルを、各収納ボックス付近に輪を作る等して結束バンド等で単管へ固定 します。 ▲ 各ケーブルは引っ張りすぎないよう、余裕をもって取り回してください。



解体手順

設置手順I~皿を逆の順序で行います。

3 計測記録方法

◇騒音計

計測記録手順(騒音計)

- ①騒音計収納ボックスのブレーカーのスイッチを上へ上げ、ONにします。
 ブレーカーをONにすると、騒音計 NL-42EXの電源が自動でONになります。
 騒音計のモニター画面で、起動画面表示後、測定画面に移ります。
 騒音計起動中は、インジケータランプが赤→青→赤→・・・と点滅します。
 ▲ブレーカーのスイッチをOFFにする際は、再度ONにするまで10秒以上の間隔を
- ▲ブレーカーのスイッチをOFFにする際は、再度ONにするまで10秒以上の間隔を 空けてください。



②SDカードを騒音計 NL-42EXのカードスロットへ取り付けます。
 ▲ SDカードは、付属のメーカー品、またはメーカーからの購入品のみを使用してください。
 その他のSDカードは正しく動作しないことがある為、動作保証いたしません。
 ▲ SDカードは、騒音計・振動レベル計兼用で使用できます。



③モニター画面の内容を確認します。

▲ 測定前に必ず日付/現在時間に誤差がないか確認し、必要に応じて時刻を再設定してください。



【日付/現在時間 設定方法】

- ・測定器内蔵の時計日時(日付/現在時間)を、測定データと共にメモリへ保存できます。 時計日時(日付/現在時間)の設定手順は以下の通りです。
 - 1. 「MENU/ENTERキー」を押して、メニューリスト画面を表示します。
 - 2. 「△/▽/◁/▷キー」で「システム」を選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。 3. 「△/▽キー」で「現在時刻の設定」を選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。

 - 4. 「△/▽キー」で変更する「年」「月」「日」「時」「分」「秒」を選択後、 「△/▽キー」で数値を変更します。
 - 5. 手順4を繰り返し、全ての変更が完了したら「MENU/ENTERキー」を押し、 設定した年月日時分秒が本体の内蔵時計にセットされます。
 - 6.「START/STOPキー」を押して、測定画面へ戻ります。
 - ▲ 測定器にはバックアップ充電池が内蔵されています。お客様による充電池交換はしないで ください。メーカー保証が適用されません。
 - ▲ 電源OFFの時、時計は内蔵のバックアップ充電池で保持されます。時計の保持期間はバック アップ充電池の充電時間によります。(フル充電時間約24時間で、保持期間約45日)



【バックライト 明るさ調整方法】

・「LIGHTキー」を押すことにより、画面のバックライトを点灯/消灯できます。 バックライト点灯により、暗い場所での画面表示を見やすくすることが出来ます。 バックライト点灯時の明るさ調整手順は以下の通りです。

- 1. 「MENU/ENTERキー」を押して、メニューリスト画面を表示します。
- 2. 「△/▽/◁/▷キー」で「システム」を選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。
- 3. 「△/▽キー」で「バックライト・液晶設定」を選択後、「MENU/ENTERキー」を 押します。
- 4. $\lceil \Delta / \nabla + \rfloor$ で「バックライト明るさ調整」を選択後、「MENU/ENTER+-」を 押します。
- 5. 「△/▽キー」で明るさを「1」(暗)~「4」(明)の4段階から選択後、 「MENU/ENTERキー」を押します。
- 6. 「START/STOPキー」を押して、測定画面へ戻ります。
- 【設定ファイルの読込方法】

・誤って設定を変更してしまった場合、初期設定ファイルを読み込むことで、初期設定に戻す ことが出来ます。

設定ファイルの読み込み手順は以下の通りです。

- 1.「MENU/ENTERキー」を押して、メニューリスト画面を表示します。
- 2. $\lceil \Delta / \nabla / \Delta / P$ キー」で「システム」を選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。
- 3. 「△/▽キー」で内蔵メモリのNo.1(初期設定ファイル)を選択後、 「MENU/ENTERキー」を押します。設定ファイル処理画面が表示されます。
- 4.「△/▽キー」で「設定に反映」を選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。 確認画面が表示されます。
- 5. 「△/▽キー」で「はい」を選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。 初期設定内容が反映されます。



操作パネル

【初	期設	定】
		_

			+-		
• 測定設定			• 表示		
周波数重み付け特性	生:	A特性	Leq	:	ON
時間重み付け特性	:	F (速い)	LE	:	OFF
ウインドスクリーン	ン補正 :	WS-15	Lmax	:	ON
拡散音場補正(DF	;)	OFF	Lmin	:	OFF
遅延測定	:	OFF	L5	:	OFF
バックイレース(E	BE) :	OFF	L10	:	OFF
サブチャンネル測定	定設定	OFF	L50	:	ON
 入出力 			L90	:	OFF
交流(AC)出力	:	OFF	L95	:	OFF
直流(DC)出力	:	MAIN	時間-レベル	:	ON
コンパレータ	:	OFF	時間スケール	:	20s
通信制御機能		OFF	表示・出力	:	100dB
・ストア			フルスケール		
ストアモード	: Auto		「バーグラフ下限」	:	30dB
ストア名	: 0001				
総測定時間	: 1000h	(ユーザー設定	2)		
Lpストア周期	: OFF				
Leq演算周期	: 10min				

※ の項目の設定は変更しないでください。

- ④「START/STOPキー」を押し、初期設定による測定を開始します。 測定中は、画面の測定中マークトが点滅し、インジゲータランプが赤色点滅します。 Leq演算周期が経過する度にアドレスが1つ繰り上がり、SDカードへデータが自動保存されます。
- ▲ 突然の電源断があった場合、データが破損する可能性があります。この場合、測定器にはデータ 修復機能があるので、SDカードを抜かずに電源を再投入してください。PC等でフォーマットす るとデータは修復できません。ただし、全てのデータ修復を保証するものではありません。 設定によりデータが修復できない場合もあるので、ご注意ください。 ▲ 以下のいずれかの条件が発生した場合には、ストアを停止しデータを保存します。

- 設定した総測定時間に達した場合
- Legストアが999.999組に達した場合
- SDカード容量が足りなくなった場合

▲ 電源供給が途絶えると、測定記録も止まる為、再度「START/STOPキー」を押して 測定を開始してください。

同一ストア名のデータがSDカード内にある場合、警告文(「同じファイル名が存在します」) が表示されます。「△/マキー」で「ストア名を1つ上げて測定【ストア名0000】」または 「上書きして測定」を選択後、「MENU/ENTERキー」を選択する必要があります。



⑤総測定時間(1000h)が経過すると自動的に測定・データ保存が終了します。 ▲測定を中断する場合は、「START/STOPキー」を押します。

記録出力手順(騒音計)

①SDカードを騒音計 NL-42EXのカードスロットより取り外します。 ▲必ず電源をOFFにした状態で行ってください。

起動時、データ書き込み時または読み込み時に取り外すと、SDカード内のデータが 破壊される場合があります。

▲記録した測定データの破壊、消滅については、当社は一切の責任を負いかねますので、 ご了承ください。

②PCにてSDカードを読み込みます。

▲SDカードはフォーマット(初期化)しないでください。 カード内に記録される全てのデータ(初期設定ファイル等)が消去され、使用出来なく なります。

【データについて】

 SDカード内のフォルダ、ファイル名は下記のようになります。(####はストア名)
 ▲フォルダ、ファイル名を変更したり、ファイルの保存フォルダを変更すると、 騒音計メニューリスト画面の「リコール」でデータが認識されません。





④ファイルの種類で「すべてのファイル」を選択し、開きたいストアデータファイルを選択し「開く」を選択します。

1.22.126.000							
- 🗁 👻 🕇 📙 🕨 USB 🖻	ライブ (F:) > NL-42 >	Auto_0001 > AUTO_LEQ		v ⊙	AUTO_LEQの検索		,
整理 ▼ 新しいフォルダー						EE - D	
3D オブジェクト	^ 名前	^	更新日時	種類	サイズ		
🖊 ダウンロード	NL_0	01_SLM_Leq_0001_0001.rnd	2018/01/03 5:05	RND ファイル	3 KB		
🔜 デスクトップ							
🗐 ドキュメント							
■ ピクチャ							
📓 ビデオ							
🎝 ミュージック	目目	くファイル					
🟪 ローカル ディスク (C:)	170						
🕳 ボリューム (D:)							
🕳 USB ドライブ (F:)							
🕳 USB ドライブ (F:)							
📙 NL-42							
🚁 ネットワーク							
	~						
ファイル名((N): NL_001_SLM_Lec	_0001_0001.md		~	すべてのファイル		
				ツール(L) 🗸	開<(q>↓	+12	ルレル

12

⑤下記画面が表示されたら、「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに 区切られたデータ」を選び、「次へ」を選択します。

テキスト ファイル ウィザード - 1 / 3	? ×
選択したデータは固定長のデータで構成されています。	
[次へ]をクリックするか、区切るデータの形式を指定してくださ	
元のデータの形式	
データのファイル形式を選択してください。	(一豆 - 加) わた ニ、 カ(の)
● カノマやタフなとのと切り文子によって フィールトとと	に広 切られた データ(型)
Over vice scherchercherce and and a schercher	MW 700
取り込み開始行(B): 1 テ 元のファイル(O):	932 : 日本語 (シフト JIS)
Zz√JL E¥NL-42¥Auto 0001¥AUTO LEO¥NL 001 SL	4 Leo 0001 0001 md /072 ປະະັນ ∽
Address, Start Time, Measurement Time, Leq, LE,	Lmax,Lmin,Ly,LN1,LN2,LN3,LN4,LN5,Over,Unde
2,2018/01/03 05:02:35,00d 00:00:10.0,	67.8, 77.8, 77.0, 44.3,, 75.5, 72.7,
4 3,2018/01/03 05:02:45,00d 00:00:10.0,	63.3, 73.3, 78.1, 47.1,, 70.5, 66.6, 🛩
<	>
	200 401 (172(0) (1560 (150)
	THE THE THE

⑥区切り文字の「カンマ」のみにチェックを入れ、「完了」を選択します。

テキスト ファイル ウィザード - 2 / 3	?	×
フィールドの区切り文字を指定してください。[データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されます。	,	
区切り文字 □ タブ(1) □ セミコロン(M) □ ブンマ(0) □ スペース(S) □ その他(0): データのブレビュー(P)		
Address Start Time Measurement Time Leg LE Lmax Lmin Ly LN1	LN2	^
1 2018/01/03 05:02:25 00d 00:00:10.0 62.0 72.0 72.6 43.9 69.	9 66.6	
2 2018/01/03 05:02:35 D0d 00:00:10.0 67.8 77.8 77.0 44.3 75.	5 72.7	5
Kulo/ul/us us.uz.40 pud uu.uu.lu.0 [65.5]/5.5]/6.1[4/.1]]/0. Kulo/ul/us us.uz.40 pud uu.uu.lu.0 [65.5]/5.5]/6.1[4/.1]	0100.0 >	
キャンセル 〈 戻る(B) 次へ(N) >	完了	[2]

⑦測定結果が開かれます。

R	- 19 - (11 -	🛱 🞑 I 🖛								NL_00	L_SLM_Leq_	0001_0001 -	Microsoft E	xcel	
ファイ	ルホーム	挿入 ペー	・ジレイアウト 数式 う	データ 校閲	表示	アドイン									
Ê	しん 切り取り)	M S Pゴシック -	11 · A A	. = = ;	⇒ ≫	書 折り返し	て全体を表示	する 標準		•		標準	どち	ららでもない
貼り付	" いい コピー・ け	, コピー/貼り(付け	B I U - 🖽 - 🆄	- <u>A</u> - <u>Z</u>			重セルを結	含して中央揃	ž • 🛒 • %	· ·	28 条件付き	テーブルとして	メモ	<u> </u>	クセル
	クリップボー	F G	フォント		G	-	記置		ra i	数値	12 T	1014137年,			;
	A1	- (=	<i>f</i> ≰ Address												
1	A	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	К	L	M	N	0
1	Address	Start Time	Measurement Time	Leq	LE	Lmax	Lmin	Ly	LIN1	LN2	LN3	LN4	LN5	Over	Under
2	1	2018/1/3 5:0	02 00d 00:00:10.0	62	72	72.6	43.9		69.9	66.6	56.8	44.8	44.6		
3	2	2018/1/3 5:0	02 00d 00:00:10.0	67.8	77.8	77	44.3	-,-	75.5	72.7	60.4	45.5	45		
4	3	2018/1/3 5:0	02 00d 00:00:10.0	63.3	73.3	78.1	47.1		70.5	66.6	58.4	51.2	49.5		
5	4	2018/1/3 5:0	02 00d 00:00:10.0	56.1	66.1	67.6	44.4		63.1	61.8	49.7	45.3	45.1		
6	5	2018/1/3 5:0	03 00d 00:00:10.0	52.3	62.3	62.2	44.8		58	56.2	49.6	46	45.5		
7	6	2018/1/3 5:0	03 00d 00:00:10.0	73.1	83.1	84.4	45.1	-,-	79.2	77.5	69.4	55.2	47.4		
8	7	2018/1/3 5:0	03 00d 00:00:10.0	70.9	80.9	89.2	44.3		75.4	68	51.4	45.8	45.4		
9	8	2018/1/3 5:0	03 00d 00:00:10.0	52.9	62.9	59.1	44.6	-,-	58	57	51.4	46.3	45.8		
10	9	2018/1/3 5:0	03 00d 00:00:1 0.0	64.3	74.3	81.2	45.3	-,-	70.3	65.2	56	47.7	46.7		
11	10	2018/1/3 5:0	03 00d 00:00:10.0	55.6	65.6	65.2	44.5		61.8	59.3	51.4	45.5	45.2		
12	11	2018/1/3 5:0	04 00d 00:00:10.0	53.4	63.4	63.5	44.9		58.5	57.7	50.4	45.8	45.5		
13	12	2018/1/3 5:0	00d 00:00:10.0	54.1	64.1	60.5	44.6	-,-	58.6	58	52.1	46.3	45.9		
14	13	2018/1/3 5:0	00d 00:00:10.0	52.3	62.3	59.3	44.6		57.7	56.6	50	45.8	45.4		
15	14	2018/1/3 5:0	04 00d 00:00:10.0	51.6	61.6	60.7	45.1		55.5	54.3	50.4	46	45.7		
16	15	2018/1/3 5:0	00d 00:00:1 0.0	53.3	63.3	64.4	45.2	-,-	59.4	56.4	49.8	46	45.7		
17	16	2018/1/3 5:0	00d 00:00:1 0.0	52.4	62.4	62.7	44.6		57.8	56.3	49.8	45.5	45.1		
18	17	2018/1/3 5:0	05 00d 00:00:1 0.0	53.2	63.2	61.6	44.1		59	57.9	49.4	45	44.8		
19	18	2018/1/3 5:0	05 00d 00:00:10.0	56.2	66.2	65.5	44.5	-,-	63.7	61.4	51.6	45.3	45.1		
20	19	2018/1/3 5:0	05 00d 00:00:00.7	44.8	43.3	45.3	44.2	-,-	45.1	45.1	44.8	44.5	44.5		
21															

【各測定項目 解説】

- ・Leq(時間平均サウンドレベル) 時間的に変動する騒音レベルのエネルギー的な平均値
- •LE(音響暴露レベル) 単発的な騒音の大きさを、そのエネルギーと等しいエネルギーを持つ継続時間1秒間の 定常騒音の騒音レベルに換算
- ・Lmax(時間重み付き騒音レベルの最大値) 対象時間範囲に発生した騒音レベルの最大値
- ・Lmin(時間重み付き騒音レベルの最小値) 対象時間範囲に発生した騒音レベルの最小値
- ・LN1(5%時間率騒音レベル、L5) ある騒音レベルを超えている時間の合計が実測時間の5%に相当する値
- ・LN2(10%時間率騒音レベル、L10) ある騒音レベルを超えている時間の合計が実測時間の10%に相当する値
- ・LN3(50%時間率騒音レベル、L50) ある騒音レベルを超えている時間の合計が実測時間の50%に相当する値
- ・LN4(90%時間率騒音レベル、L90) ある騒音レベルを超えている時間の合計が実測時間の90%に相当する値
- ・LN5(95%時間率騒音レベル、L95) ある騒音レベルを超えている時間の合計が実測時間の95%に相当する値

⑧「ファイル」より「名前を付けて保存」を選択し、ファイルの種類を「Excelブック」とし、 ファイル名・保存場所を指定後、「保存」を選択します。

🗶 名前を付けて保存									>
← → • ↑ 🗖	> PC	» デスクトップ »				~ Ō	デスクトップの検索		Q
整理 ▼ 新しい!	フォルダー							-	?
OneDrive	^	名前	^	更新日時	種類	サイズ			
PC		🔜 新しいフォルダー		2019/09/20 16:06	ファイル フォルダー				
 3D オブジェクト									
🖊 ダウンロード									
📃 デスクトップ									
🗐 ドキュメント									
📰 ピクチャ									
📕 ビデオ									
🎝 ミュージック									
🏪 ローカル ディス	7 (C								
🕳 ボリューム (D:)									
🕳 USB ドライブ (F:)								
ファイル名(N):	YYYY.N	MM.DD							
ファイルの種類(T)	Excel 7	ブック							
		縮小版を保存する							
▲ フ+ルダーの非主テ						ツール(L) ・	· 保存(S)	キャンヤ	IL
へ ノイルラーの非衣示						2 /F(L)			

【SDカードに保存されたデータの削除方法】

- メモリに保存したデータを削除する手順は以下の通りです。
 - 1.「MENU/ENTERキー」を押して、メニューリスト画面を表示します。
 - 2. 「△/▽/◁/▷キー」で「リコール」を選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。 ファイル選択画面が表示されます。
 - 3. 「△/▽/⊲/▷キー」で以下のデータの保存場所を選択します。 ・「SD Auto Leq」(Leqストアデータの結果を削除する場合)
 4.「△/マキー」で削除するデータを選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。
 5.「△/マキー」で「データを削除」を選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。

 - 6. 確認画面が表示されたら「△/▽キー」で「はい」を選択後、「MENU/ENTERキー」 を押します。





◇振動レベル計

計測記録手順(振動レベル計)

- ①振動計収納ボックスのブレーカーのスイッチを上へ上げ、ONにします。
 ブレーカーをONにすると、振動レベル計 VM-55EXの電源が自動でONになります。
 振動レベル計のモニター画面で、起動画面表示後、測定画面に移ります。
 振動レベル計起動中は、インジケータランプが赤→青→赤→・・・と点滅します。
- ▲ブレーカーのスイッチをOFFにする際は、再度ONにするまで10秒以上の間隔を 空けてください。



②SDカードを振動レベル計 VM-55EXのカードスロットへ取り付けます。
 ▲SDカードは、付属のメーカー品、またはメーカーからの購入品のみを使用してください。
 その他のSDカードは正しく動作しないことがある為、動作保証いたしません。
 ▲SDカードは、騒音計・振動レベル計兼用で使用できます。



③モニター画面の内容を確認します。

▲ 測定前に必ず日付/現在時間に誤差がないか確認し、必要に応じて時刻を再設定してください。





【日付/現在時間 設定方法】

・測定器内蔵の時計日時(日付/現在時間)を、測定データと共にメモリへ保存できます。 時計日時(日付/現在時間)の設定手順は以下の通りです。

- 1.「MENU/ENTERキー」を押して、メニューリスト画面を表示します。
- 2.「△/▽/◁/▷キー」で「システム」を選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。
 3.「△/▽キー」で「現在時刻の設定」を選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。
- 4. 「△/▽キー」で変更する「年」「月」「日」「時」「分」「秒」を選択後、 「△/▽キー」で数値を変更します。
- 5. 手順4を繰り返し、全ての変更が完了したら「MENU/ENTERキー」を押し、 設定した年月日時分秒が本体の内蔵時計にセットされます。
- 6.「START/STOPキー」を押して、測定画面へ戻ります。
- ▲ 測定器にはバックアップ充電池が内蔵されています。お客様による充電池交換はしない でください。メーカー保証が適用されません。
- ▲ 電源OFFの時、時計は内蔵のバックアップ充電池で保持されます。時計の保持期間はバック アップ充電池の充電時間によります。(フル充電時間約24時間で、保持期間約45日)



【バックライト 明るさ調整方法】

•「LIGHTキー」を押すことにより、画面のバックライトを点灯/消灯できます。 バックライト点灯により、暗い場所での画面表示を見やすくすることが出来ます。 バックライト点灯時の明るさ調整手順は以下の通りです。

- 1.「MENU/ENTERキー」を押して、メニューリスト画面を表示します。
- 2. 「△/▽/◁/▷キー」で「システム」を選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。
- 3. 「△/▽キー」で「バックライト・液晶設定」を選択後、「MENU/ENTERキー」を 押します。
- イ△/マキー」で「バックライト明るさ調整」を選択後、「MENU/ENTERキー」を を押します。
- 「△/マキー」で明るさを「1」(暗)~「4」(明)の4段階から選択後、 「MENU/ENTERキー」を押します。
- 6.「START/STOPキー」を押して、測定画面へ戻ります。

【設定ファイルの読込方法】

・誤って設定を変更してしまった場合、初期設定ファイルを読み込むことで、初期設定に戻すことが出来ます。

設定ファイルの読み込み手順は以下の通りです。

- 1. 「MENU/ENTERキー」を押して、メニューリスト画面を表示します。
- 2. 「△/▽/◁/▷キー」で「システム」を選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。
- 3. 「△/▽キー」で内蔵メモリのNo.1(初期設定ファイル)を選択後、 「MENU/ENTERキー」を押します。設定ファイル処理画面が表示されます。
- イ(△/マキー」で「設定に反映」を選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。
 確認画面が表示されます。
- 5. 「△/▽キー」で「はい」を選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。 初期設定内容が反映されます。



【初期設定】

• 測定設定		
遅延測定	:	OFF
・ストア		
・ストアモード	:	Auto
• ストア名	:	0001
・測定チャンネル	:	Z
• 総測定時間	:	1000h(ユーザー設定)
・Lvストア周期	:	OFF
• Leq演算周期	:	10min
•表示/入出力		
・レンジ設定	:	X-100, Y-100, Z-100
・時間-レベルグラフ		
時間スケール	:	20s
• 外部出力	:	直流(DC)
・コンパレータ	:	OFF
• 通信制御機能		OFF
※ の項目の設定は変更(しなし	いでください。

- ④「START/STOPキー」を押し、初期設定による測定を開始します。
 測定中は、画面の測定中マーク▷が点滅し、インジゲータランプが赤色点滅します。
 Leq演算周期が経過する度にアドレスが1つ繰り上がり、SDカードへデータが自動保存されます。
- ▲ 突然の電源断があった場合、データが破損する可能性があります。この場合、測定器にはデータ 修復機能があるので、SDカードを抜かずに電源を再投入してください。PC等でフォーマットす るとデータは修復できません。ただし、全てのデータ修復を保証するものではありません。 設定によりデータが修復できない場合もあるので、ご注意ください。

▲ 以下のいずれかの条件が発生した場合には、ストアを停止しデータを保存します。

- ・設定した総測定時間に達した場合
- Leqストアが999,999組に達した場合
- ・SDカード容量が足りなくなった場合

▲電源供給が途絶えると、測定記録も止まる為、再度「START/STOPキー」を押して 測定を開始してください。

同一ストア名のデータがSDカード内にある場合、警告文(「同じファイル名が存在します」) が表示されます。「△/▽キー」で「ストア名を1つ上げて測定【ストア名OOOO】」または 「上書きして測定」を選択後、「MENU/ENTERキー」を選択する必要があります。



⑤総測定時間(1000h)が経過すると自動的に測定・データ保存が終了します。 ▲ 測定を中断する場合は、「START/STOPキー」を押します。

記録出力手順(振動レベル計)

①SDカードを振動レベル計 VM-55EXのカードスロットより取り外します。 ▲必ず電源をOFFにした状態で行ってください。

起動時、データ書き込み時まだは読み込み時に取り外すと、SDカード内のデータが 破壊される場合があります。

▲記録した測定データの破壊、消滅については、当社は一切の責任を負いかねますので、 ご了承ください。

②PCにてSDカードを読み込みます。

▲SDカードはフォーマット(初期化)しないでください。 カード内に記録される全てのデータ(初期設定ファイル等)が消去され、使用出来なく なります。

【データについて】

 SDカード内のフォルダ、ファイル名は下記のようになります。(####はストア名)
 ▲フォルダ、ファイル名を変更したり、ファイルの保存フォルダを変更すると、 振動レベル計メニューリスト画面の「リコール」でデータが認識されません。



上げ、「	ファイル」より「開く」を選択します
ページレイアウト Book1の	数式 テータ 校園 表示 アドイン 州青報
「 ブックの 保護 ・	アクセス許可 すべてのユーザーがこのブックを開いてコピーや変更を行うことができます。
 問題の チェック - 	共有準備 このファイルには次の項目が含まれています。ファイルの共有時には注意してください。 ■ 作成者の名前
「バージョンの 管理・	バージョン 私 このファイルには、前のパージョンはありません。
	 上げ、「 メーラレイアウト Book1 の デックの 保護・ 問題の チェック・

④ファイルの種類で「すべてのファイル」を選択し、開きたいストアデータファイルを選択し「開く」を選択します。



⑤下記画面が表示されたら、「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに 区切られたデータ」を選び、「次へ」を選択します。

	1/00/0
テキスト ファイル ウィザード - 1/ 3	? ×
選択したデータは固定長のデータで構成されています。	
[次へ] をクリックするか、区切るデータの形式を指定してください。	
元のデータの形式	
データのファイル形式を選択してください。	
● カンマヤダンなどの区切り又子によってフィールトレンに区切られたナーダ(型) ○ フペースによって去またけたに描えられた国定長コノールドのデータ(型)	
O A C A REAST CHARGE AND CONTRACT AND A CONTRACTACT AND A CONTRACTACT AND A CONTRACTACT AND A CO	
取り込み開始行(E): 1 🔄 元のファイル(Q): 932:日本語 (シフト・	JIS) 🗸
ファイル F:¥VM-55¥Auto_0001¥AUTO_LEQ¥VM_001_VLM_Leq_0001_0001md のプレ	či-
1 DSV	^
2 Address, Start Time, Measurement Time, X_Lveq, X_Lvmax, X_Lvmin, X_LvN1,	K_LVN2,X_LVN3,X_LVN
3 1,2019/09/20 15:37:03,00d 00:00:10.0,,,,	,,,
41 2,2013/03/20 15:37:13,00d 00:00:10.0,,,,,	,,, *
キャンセル く戻る(日)	(次へ(PQ) 完了(E)

⑥区切り文字の「カンマ」のみにチェックを入れ、「完了」を選択します。

テキスト ファイル ウィザード - 2 / 3	?	×
フィールドの区切り文字を指定してください。[データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されます	•	
区切り文字 □ タブ(1) □ セミコロン(M) □ カンマ(2) □ スペース(S) □ その他(Q): データのブレビュー(P)		
CSV Address Start Time Measurement Time K_Lveq K_Lvmax K_Lvmin K_LvN1 K_L 1 2019/09/20 15:37:03 00d 00:00:10.0 2 2019/09/20 15:37:13 00d 00:00:10.0 <	√N2 X_I 	<pre></pre>
キャンセル < 戻る(B) 汰へ(N) >		;7(E)

⑦測定結果が開かれます。

	🚽 🄊 - (°		🛱 🞑 i 🖛									VM_001_VLM	_Leq_0001	0001 - Mi	crosoft Excel								
77-	イル ホー	4	挿入 パ	ージレイ	イアウト 数式	じ データ																	
	শ্ 👗 খ্যাচা	取り		MSF	Pゴシック	- 11	» 8	事 折り返し	して全体を	表示する 槽	繊	-		標	準	どちらでも	ない。悪い		良い	チェッ	クセル		≯ 🛅
見より(^{二」} 🗈 コピー 付け			ъ,	т. – 1.001	- A- A	e sie F	調セルを紹	法会 7 由	¢-m2 - ₩	a . % .	• ₂0 .00 ∯	件付き テープ	ルとして メモ	e	リンクセル	計算		警告文	出力		挿入	刷除 書式
~	定書 🍫	<i>,</i> ∕0⊐	ピー/貼り付け		<u>u</u>			n chren	allo en			100 4.0	「武・ 書式]	设定 •			a b ()					J -	* *
_	グリップホ	- 14	- 5		7#2	小	ACCE	4		6	数他	6					7911						211
	A1		• (*		f CSV																		
A	A	4	В		C		AN	1	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX	AY	AZ	BA	BB	BC
1	CSV	-1	And There			at Time	71.000	7.1.		7.1. min	71.48	7 1.0012	71.40	7.1.444	7 1.46	71,000	7 1.000000	Zlummin	7 Luebl	7 L = 1/2	7 Lue N2	Z Lumbld	Zilvebi
2	Address	1	2019/9/20	15.97	Measureme 004.00:00:1	nt Lime	Z_Lveq 6	3.2	72.1	52.4	Z_LVINI 701	2_LVI%2 67	2_LVIN0 58.6	Z_LVIN9 53	3 50	2_LVaeru 3 76.6	Z_EVamax 87.3	Z_LVamin 601	Z_LVarvi 85	Z_LVanv2 81.6	2_LVanso 67.6	2_LVarve 60.9	2_LVal\0
4		2	2019/9/20	15:37	004 00:001	0.0	~	54	57.7	50.5	56.7	56.1	53.7	51	.7 51./	4 61.3	64.8	57.7	/ 63	62.6	60.9	58.9	58.4
5		3	2019/9/20	15:37	00d 00:00:1	0.0	5	7.9	61.3	52.4	60.8	60.3	56.8	54	3 53.9	3 66.2	73.2	58.9	70.7	68.5	63.8	60.2	59.8
6		4	2019/9/20	15:37	00d 00:00:1	0.0	6	5.2	73.3	52.7	71.3	. 70	63.2	56	.1 55	5 81.3	90.9	59.5	88.5	87	72.7	62.7	61.4
7		5	2019/9/20	15:37	00d 00:00:1	0.0	5	5.4	64.2	48.1	59.5	56.8	52.3	50	8 50.1	62.7	71.8	56.2	68.7	65.8	59.5	58.4	57.5
8		6	2019/9/20	15:37	00d 00:00:1	0.0	5	5.6	64.6	50.4	62.5	60.9	53.9	52	.4 51.3	7 61.7	71.9	57.9	69.7	67.7	60.1	58.7	58.4
9		7	2019/9/20	15:38	00d 00:00:1	0.0	5	1.7	56.2	49.8	53.6	53.4	52.1	50	5 50.3	3 59.2	62.1	56.8	61.2	60.8	59.2	57.7	57.3
10		8	2019/9/20	15:38	00d 00:00:1	0.0	5	3.5	55.3	50.7	54.9	54.6	53.3	51	.7 51.4	4 62.4	68.8	58.5	67	64.4	61.2	59.7	59.3
11		9	2019/9/20	15:38	00d 00:00:1	0.0	5	5.8	61.6	50.8	61	59.9	53.7	51	.8 51.5	5 67.1	74.5	57.5	73.6	72.2	61	58.6	58.4
12	1	0	2019/9/20	15:38	00d 00:00:1	0.0	5	8.5	68	50.2	65.3	55.2	52.8	51	.4 50.9	€ 63.6	72.9	56.8	70.5	61.2	58.6	57.5	57.2
13	1	1	2019/9/20	15:38	00d 00:00:1	0.0		56	66.8	51.8	64.4	61.4	55.4	53	.9 53	3 59.8	71.4	57.3	68.7	65.7	59.6	58	57.8
14	1	2	2019/9/20	15:38	00d 00:00:1	0.0	- 6	7.8	77.8	50.9	75.8	73.1	54.6	52	.4 51.5	5 73.8	83.3	55.9	81.3	78.6	59.5	57.4	56.7
15	1	3	2019/9/20	15:39	00d 00:00:1	0.0	6	0.6	70.4	52.1	68.2	65	57.3	53	.4 53	3 66.2	75.2	57.3	/ /3	71.8	63.9	58.3	58.1
16	1	4	2019/9/20	15:39	00d 00:00:1	0.0	0	3.6	73.2	51./	/1.4	68.1	592	54	.8 54	1 69.4	78.8	5/2	/6.5	/3.8	65.3	60	59.2
17	1	5	2019/9/20	15:39	00d 00:00:1	0.0	5	6.2	60.7	51.3	59.9	59.4	55./	52	.4 51.8	3 62.9	08.1	58.1	9.00	00.2	61.8	58.9	58.6
18	1	8	2019/9/20	15:39	00d 00:001	0.0	0	7.7	65.3	51.5	04.3	01.4	0.00	. 53	.1 52.2	3 04.1	/1.1	58.2	0.60	08.1	01./	59.1	58.8
19	1	7	2019/9/20	15:39	000 00:001	0.0	0	5.1	59.3	50.8	58.3	57.5	54.1	51	.9 51.	/ 012	00.3	57.9	05.3	04.2	59.9	58.0	58.2
20	1	8	2019/9/20	15:39	000 00:001	0.0	0	5.6	59.4	52.2	58.4	58	50	. 0	3 52.	/ 01.3	0.00	58.4	04.0	02.8	00.0	59.1	08.9
21	<u>1</u>	3	2019/9/20	15:40	000 00:00:0	.0.8	5	0./	56	54.7	57.9	57.9	57.7	54	.0 04.0	5 07.4	00.2	01.2	. 00.1	1.00	05.9	01.4	01.4

【各測定項目 解説】

- •Z_Lveq(時間平均振動レベル) 時間的に変動する振動レベルのエネルギー的な平均値
- ・Z_Lvmax(振動レベルの最大値) 対象時間範囲に発生した振動レベルの最大値
- ・Z_Lvmin(振動レベルの最小値) 対象時間範囲に発生した振動レベルの最小値
- •Z_LvN1(5%時間率振動レベル、L5) ある振動レベルを超えている時間の合計が実測時間の5%に相当する値
- •Z_LvN2(10%時間率振動レベル、L10) ある振動レベルを超えている時間の合計が実測時間の10%に相当する値
- •Z_LvN3(50%時間率振動レベル、L50) ある振動レベルを超えている時間の合計が実測時間の50%に相当する値
- •Z_LvN4(90%時間率振動レベル、L90) ある振動レベルを超えている時間の合計が実測時間の90%に相当する値
- •Z_LvN5(95%時間率振動レベル、L95) ある振動レベルを超えている時間の合計が実測時間の95%に相当する値
- •Z_Lvaeq(時間平均振動加速度レベル) 時間的に変動する振動加速度レベルのエネルギー的な平均値
- ・Z_Lvamax(振動加速度レベルの最大値) 対象時間範囲に発生した振動加速度レベルの最大値
- •Z_Lvamin(振動加速度レベルの最小値) 対象時間範囲に発生した振動加速度レベルの最小値
- •Z_LvaN1(5%時間率振動加速度レベル、L5) ある振動加速度レベルを超えている時間の合計が実測時間の5%に相当する値
- •Z_LvaN2(10%時間率振動加速度レベル、L10) ある振動加速度レベルを超えている時間の合計が実測時間の10%に相当する値
- •Z_LvaN3(50%時間率振動加速度レベル、L50) ある振動加速度レベルを超えている時間の合計が実測時間の50%に相当する値
- •Z_LvaN4(90%時間率振動加速度レベル、L90) ある振動加速度レベルを超えている時間の合計が実測時間の90%に相当する値
- •Z_LvaN5(95%時間率振動加速度レベル、L95) ある振動加速度レベルを超えている時間の合計が実測時間の95%に相当する値

※XY方向の数値は計測されていない為、計測値は非表示となっています。

⑧「ファイル」より「名前を付けて保存」を選択し、ファイルの種類を「Excelブック」とし、 ファイル名・保存場所を指定後、「保存」を選択します。

▲ 名前を付けて保存					
← → 、 ↑ ■ 、 PC 、 デスクトップ 、			ٽ ~	デスクトップの検索	م
整理 ▼ 新しいフォルダー					8== - (2
OneDrive 个名前	更新日時	種類	サイズ		
	2019/09/20 14:46	ファイル フォルダー			
↓ ダウンロード					
デスクトップ					
Κ+=					
ビクチャ					
📕 ビデオ					
🍌 ミュージック					
🏪 ローカル ディスク (C					
💼 ボリューム (D:)					
🕳 リムーバブル ディスク					
· · · · ·					
ファイル名(N): YYYY.MM.DD					
ファイルの種類(T): Excel ブック					
── 縮小版を保存する					
▲ フォルダーの非表示			ツ−ル(L) -	保存(S)	キャンセル

【SDカードに保存されたデータの削除方法】

- ・メモリに保存したデータを削除する手順は以下の通りです。
 - 1. 「MENU/ENTERキー」を押して、メニューリスト画面を表示します。
 - 2. 「△/▽/<//>
 ク/>
 クー」で「リコール」を選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。 ファイル選択画面が表示されます。
 - 3.「△/▽/⊲/▷キー」で以下のデータの保存場所を選択します。
 ・「SD Auto Leq」(Leqストアデータの結果を削除する場合)
 - 4.「△/▽キー」で削除するデータを選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。
 - 5. 「△/▽キー」で「データを削除」を選択後、「MENU/ENTERキー」を押します。
 - 6. 確認画面が表示されたら「△/マキー」で「はい」を選択後、「MENU/ENTERキー」 を押します。





NIHON SAFETY CO.		イフティー株式会社
	http://ww	w.nihonsafety.com
本 社	〒102-0082 東日本第1営業部 東日本第2営業部 ラップポン事業部	東京都千代田区一番町21番地 一番町東急ビル11F TEL.03-6369-2221 FAX.03-6369-2220 TEL.03-6369-2222 FAX.03-6369-2230 TEL.03-6369-2223 FAX.03-6369-2228
大阪支店	〒541-0053 営業部	大阪市中央区本町4丁目5-16 本町スクウェアビルII TEL.06-6260-1122 FAX.06-6260-1123
東北支店	〒989-1503	宮城県柴田郡川崎町大字川内字七曲山63番地 TEL.0224-85-2331 FAX.0224-84-2333
名古屋支店	₹496-0026	愛知県津島市唐臼町ニツ池60番地 TEL.0567-33-0077 FAX.0567-33-0078
広島支店	731-0223	広島県広島市安佐北区可部南5丁目6番1号 TEL.082-819-1877 FAX.082-819-1878
四国支店	761-8031	香川県高松市郷東町577番地5 TEL.087-832-8181 FAX.087-832-8180
九州支店	7 811-2104	福岡県糟屋郡宇美町井野316番地585 TEL.092-957-6812 FAX.092-957-6813
札幌営業所	7 001-0915	札幌市北区新琴似町574-2 TEL.011-769-7631 FAX.011-769-7630
静岡営業所	7421-0303	静岡県榛原郡吉田町片岡8番2 TEL.0548-32-6661 FAX.0548-32-3456